

業績ハイライト

平成25年3月期の決算

経常収益は、利回りの低下から資金運用収益が減少しましたが、国債等債券市場取引にかかる収益及び株式等売却益が増加したことから、前事業年度比20億98百万円増加し418億33百万円となりました。

経常利益につきましては、経常収益が増加したものの、国債等債券売却損及び株式等償却の増加により経常費用も前事業年度比37億77百万円増加したために、前事業年度比16億79百万円減少し55億76百万円となりました。

当期純利益は、法人税等及び法人税等調整額の法人税等合計が減少したことにより、前事業年度比5億22百万円減少の21億82百万円となりました。

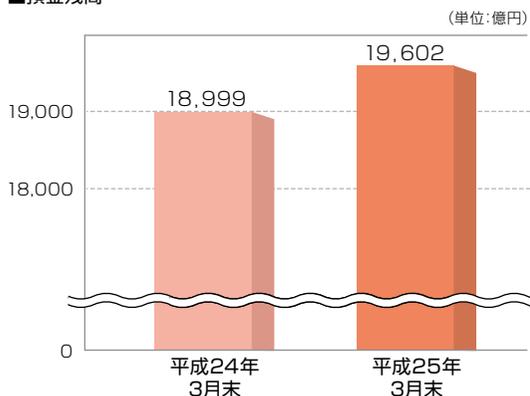
預金・貸出金等の状況

平成25年3月末の総預金残高は、前年比603億円増加し1兆9,602億円、預金以外の個人預かり金融資産残高は、前年比164億円増加し2,754億円となりました。

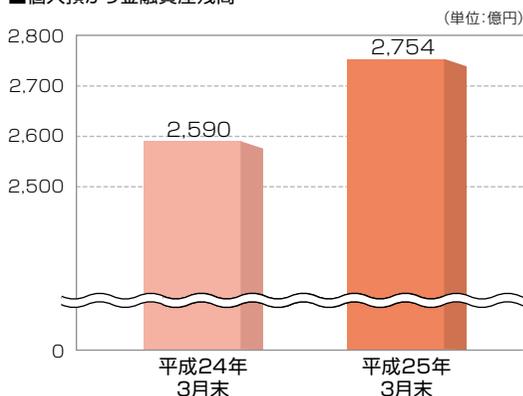
一方、平成25年3月末の総貸出金残高は、民間向け貸出金に加えて地方公共団体向け貸出金が増加したこと等から、前年比200億円増加し1兆2,458億円となりました。

(注)個人預かり金融資産残高は、投資信託、生命保険、公共債の合計であり、外貨預金は含んでおりません。

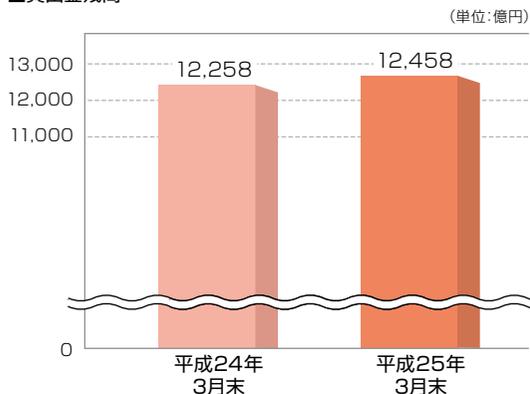
■預金残高



■個人預かり金融資産残高



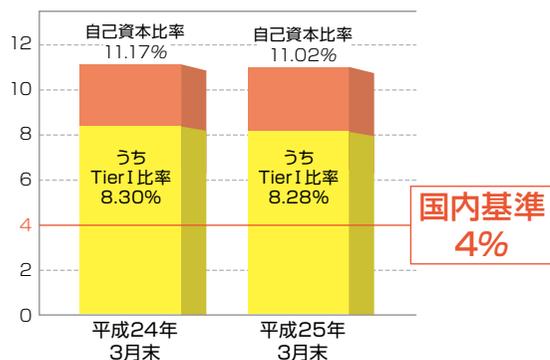
■貸出金残高



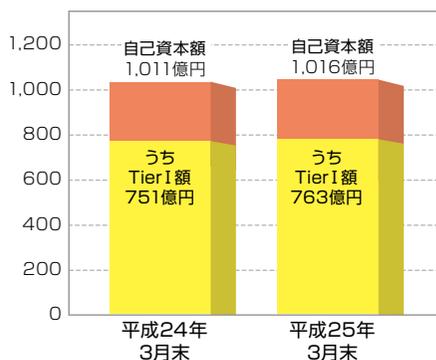
自己資本比率

- 平成25年3月末の自己資本比率(国内基準)につきましては、利益の積上げにより自己資本が増加しましたが、一方貸出金の増加等によりリスクアセットが増加したため、前年比0.15%ポイント減少し11.02%となりました。

■自己資本比率(国内基準)



■自己資本額(国内基準)



不良債権の状況

- 債権総額中に占める金融再生法開示債権(いわゆる不良債権)比率は、平成24年3月末の3.61%が平成25年3月末には3.72%となりました。

なお、当行は部分直接償却を行っておりませんが、部分直接償却を行った場合のこの比率をみますと、平成25年3月末で3.23%(平成24年3月末では3.17%)となっております。

■平成25年3月末の不良債権の状況

